

「多様な学力の分析支援としての
イメージマップ・学習記録の活用と
効果的な学習展開」

2005, 2, 23 (水) 14:25 ~ 14:40
於 ; 三重大学教育実践総合センター
三重大学院 204M001 鈴鹿市立白子小学校
穴澤真由子

2005, 2, 23 (水) 14:25~14:40
於：三重大学教育実践総合センター
三重大学院204M001 鈴鹿市立白子小学校
穴澤真由子

私が考える学力

多様な学力

算数・国語・理科・社会等の教科で育てる力

音楽・図画工作・体育等で育てる力

総合学習で育てる力

総合学習で育てる力

私が考える授業

子どもの現時点での身についている力を見立てる

授業の効果を評価する

授業を計画し実施する

その子の力を伸ばす方法を考える

良い見立てをするためには良い分析が必要ではないか？

授業を計画し実施する

分析支援としてのイメージマップの活用

イメージマップとは？

核になる言葉

連想語

派生語

水越敏行（大阪大学）
1980年

水越敏行（大阪大学）
1980年

分析支援としてのイェージマップの活用

イェージマップの実践例

食べ物

飲み物

果物

野菜

肉

魚

卵

豆

ナッツ

パン

デザート

調味料

加工食品

お酒

お菓子

お茶

コーヒー

ジュース

スムージー

ヨーグルト

チーズ

バター

オイル

酢

ソース

ドレッシング

マリネ

シロ

蜂蜜

メイプルシロップ

チョコレート

アイスクリーム

ケーキ

クッキー

ビスケット

パンケーキ

ワッフル

ドーナツ

分析支援としてのコンセプトマップの活用

コンセプトマップとは？

ダイコン ニンジン ミカン やさい くだもの

概念ラベル

ダイコンはやさいである

リンクワード (つなぎ言葉)

ダイコン ニンジン ミカン

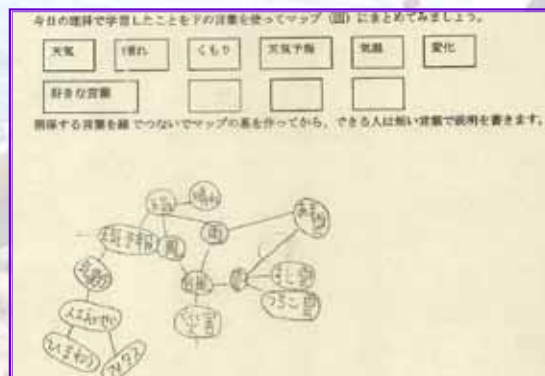
福岡敏行 (横浜国立大学) 2002年

「福岡敏行(横浜国立大学) 2002年」

予備調査（2004年10月～11月）

- ・10月13日（水）4限、10月20日（水）4限 3年生 社会・総合「サズ」（地域の大型店）をしらべよう」（イメージマップ・個人・グループ）
- ・10月14日（木）5・6限 5年生 総合学習「白子の海を調べよう」インターネットによる情報検索活動（イメージマップ・個人）
- ・10月18日（月）4限、11月8日（月）4限 5年生 理科「わたしたちの気象台」（コンセプトマップ・個人・グループ）
- ・10月26日（火）4限、11月16日（火）4限 5年生 音楽「まっかな秋」（イメージマップ・グループ・グループ）

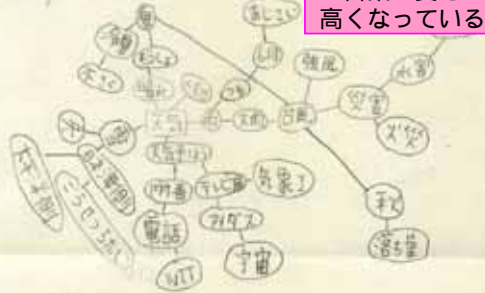
予備調査の結果（例：5年生理科プレマップ）



予備調査の結果（例：5年生理科ポストマップ）

理科「気象の変わり方」で学習したことを、マップにまとめてみる。
（天気・雨・曇り・天気予報・気象・変化など）
関係する言葉を線でつないでマップを作ります。

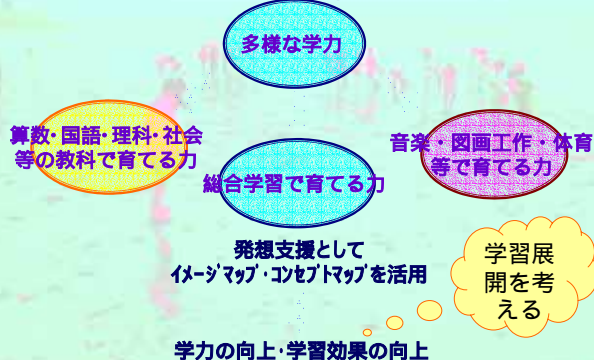
学習の前後で
言葉数が増加し
言葉の質も
高くなっている



予備調査の考察

- ・全体を通して、時間的・容的に個人差が大きかったが、マップを作成する時のルールを決め練習することで改善されると考えられる。始めに与える言葉とマップの変化に強い関連があると考えられるので工夫が必要である。
- ・3年生ではプレマップとポストマップの間どのように意識を持続させるかが課題である。体験活動後、言葉の数が増加するものだと思い込んでいたが、この場合の3年生では少数だった。後から活動を振り返らせるような手立てがあれば改善されると考えられる。
- ・3年生の子のマップは直線的な構造が多くみられたが、5年生ではより構造的なマップがみられた。発達段階がある。
- ・マップの分析のみで学力の向上や学習効果をはかることは難しく、従来からの他の分析手法と併用するのが効果的ではないかと考えられる。
- ・分析支援というよりも子どもたちがマップを作成しながら自分の発想を見直していくような使い方も効果的があるのでないか。

これからの研究 の方向性



これからの 研究計画

